

平成 20 年度第 1 回公立大学法人宮城大学評価委員会での論点 及び中期目標案・中期計画案修正のポイント

大学の目指すべき方向性の明確化

意見

- 目標を絞り、現状把握をしっかりする
- ・大学が抱える課題に対して必要な計画を立てる（総花的ではない記載）
宮城大学が目指すべき役割、特徴を示す
- ・宮城大学の目指すレベル、あり方・他の大学との棲み分けの検討

対応案

- 現状分析と課題抽出（大学全体及び各学部・研究科）
宮城大学の役割 地域に貢献できる人材の育成（より具体的な記述）
他大学との棲み分け
- ・東北大学とは異なる教育方法や分野の研究 実学の追求、フィールドワーク重視の教育、地域貢献型研究
求める学生のレベル
- ・全国区か県内区か、他大学とのレベル比較（例えば、東北大学の次で良いか、など）

盛り込む内容の精査

意見

- 入学者選抜単位の改善（事業構想学部・食産業学部における選抜単位の見直し）
- 英語教育の根本的見直し（語学教育の一新）
- カリキュラムどおり履修させる仕組みの検討

対応案

- 入学者選抜方法の見直しについて、どの辺まで切り込むか？
- 語学教育に力を入れていくことを「中期目標」にも記載する
- 各学部のカリキュラム改革の内容を「中期計画」に詳述する

記述の方法

意見

- 形容詞、修飾語の少ない表現
- 「中期計画」に記載している背景の整理
- 出来るだけ数値目標を入れるべき

対応案

- 分かりにくい表現の言い換え（抽象的な表現を具体的表現に言い換える）
- 「中期計画」の記載の背景の整理
- 数値目標は、その内容に応じて「中期目標」「中期計画」に選別して記載する